



男声合唱団 昂ニュース

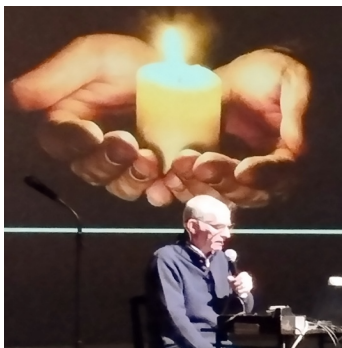
No.817
2025.2.16

発行：男声合唱団 昂
レッスン会場：
大阪市中央区谷町7丁目1-39
谷町第2ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

核兵器のない世界へ 平和のうたごえをつないで

1/26 平和を考える講演 とうたごえのつどい

ー核兵器禁止条約発効4周年記念ー



映像も使って語りかけるダニーさん

ダニー・ネフセタイさんは、昨年、年間130回ほど講演をして、平和について私たちの「気づき」を説いてきました。

イスラエルのリベラルな家庭で育ったけれど、18歳で入隊した時は何の疑問もなく、国を守るために戦闘機のパイロットになりたいと思っていたそうです。

退役後、アジア各地を放浪し、日本に来ました。

日本人女性と結婚して、埼玉県秩父に木工房を開き、日本に住んで40年。ダニーさんが語るののは、自分の「気づき」です。

イスラエルは、3年間の徴兵があり、「国のために死ぬのは素晴らしい」という愛国教育を受けてきました。イスラエルの周りは、すべて敵国で、毎年、GDPの5%も軍事費に使い、兵器を絶えず最新鋭に更新、米国からも強力な軍事的支援を受けて抑止力を高め続けているが、1948年の建国から現在まで、75年間も戦争が絶えず、いまだに平和は見えない。

日本国憲法9条を知った時、「軍隊を持たないなんて全く非現実的だ」と思ったそうです。しかし、2008年のイスラエルによる無差別虐殺を機に、武器に頼ればより強力な武器を求めるようになってキリがなくなり、結局は平和にはならないと気づく。「武器による平和」という長年信じてきた考えはウソだったと悟る。そして、憲法9条の戦争放棄こそ平和をもたらすと考えるようになるのです。

【資料】ネットで「ダニー・ネフセタイ」と検索すると出てきます。ノンフィクション作家の高瀬さんのインタビュー動画。(約1時間)
デモクラシータイムス
【高瀬毅のすばり！真相】イスラエルはなぜ戦争を続けるのか～元イスラエル軍兵士・ダニー・ネフセタイさんに聞く～



平和のうたごえで開幕(ぞうれっしゃ合唱団)

2月～3月の活動予定 (会議を除く)

- 2/16(日) 16:00 特別団員合同レッスン(時間変更にご注意)
" 17:30 定例レッスン(時間変更にご注意)
2/20(木) 16:30 声楽千秋教室Ⅱ
2/21(金) 17:30 定例レッスン
2/25(火) 13:00 草競馬レッスン(追加分)
" 14:00 強化レッスン(追加分)
3/ 2(日) 14:00 昂友の会例会
" 16:00 出演者全員通しレッスン(追加分)
3/ 4(火) 13:00 草競馬レッスン(追加分)
" 14:00 T・B合同パートレッスン
3/ 7(金) 13:30 声楽中村教室
" 17:30 定例レッスン
3/ 9(日) 14:00 昂第15回コンサート
" 17:30 打ち上げ(興隆園・会場変更しました)
3/11(火) 13:30 声楽千秋教室Ⅰ(時間変更にご注意)
" 18:00 Br・Bsパートレッスン(時間変更にご注意)
3/16(日) 14:00 定例レッスン
3/20(木) 16:30 声楽千秋教室Ⅱ
3/21(金) 17:30 定例レッスン

●15回コンが終わると、Br・Bsのパートレッスンは、3/11から元の第2火曜日18:00～に戻ります。

●声楽千秋教室Ⅰも、元の第2火曜日13:30～に戻ります。

「昂」らしさを発揮するコンサートに

昂副団長 吉岡 敬

あと一月弱で第15回コンサートを迎えます。

みなさんは準備万端で迎えることができそうですか？

私は、「暗譜」で苦しんでいます。若いときは、何の苦もなくできたことなのに、岡邑さんのように100回繰り返すのは難しいとしても、毎日少しずつでも継続することが大事なと努力しています。

この間の新型コロナと高齢化によって、団員数が少なくなりましたが、20数人でも、「昂」らしさを失わずに歌い切りたいと思っています。この「昂」らしさとは何か？

10年以上前、土井さんに誘われて初めて昂のコンサートを聴いたとき、「昂」のうたごえが、私の心に迫ってきて感動したのを覚えています。決して上手な合唱団ではないけれど、一人ひとりの歌の心がほとばしる感じで、いっしょに歌ってみたいと思ったきっかけです。

歌を歌いたい、届けたいという心がなければ他人の心に響きませんし、その心が強ければ届けるための技術は後から付いてくるだろう(努力は必要ですが)と思っています。

そしてもう一つ、私たちの歌をたくさんの人に聴いてもらうためにも、阿倍野区民センターのホールをいっぱいにする努力を、最後まであきらめずに頑張りましょう。

演奏も組織も、「昂」らしさを発揮して楽しいきましょう。

私と男声合唱

T1 小西 隆

私の変声期は小学5年生で、小学校での音楽授業が憂鬱でした。音楽担当教諭からは『暫くは歌わなくてもよろしい!』との指導を受けていたのですが、未熟な私にはその指導の真意が理解できず、「俺は音痴なのだ!」と思い込み、高校まで合唱を毛嫌していました。

大学生になり同級生に誘われ、工大こぶしに入部し、合唱の面白さを知り、遅まきながら私の(男声)合唱人生が始まりました。

社会人になり、36年程のブランクがありましたが、還暦を機に合唱人生を再開し、現在は昴を含め3合唱団に所属しております。パートは全てトップテナーです。

私の声は“未熟で未完成な声変り”が幸いしたのか、ボーイソプラノ張りの高音域に留まり、その反面、五線譜の第一線以下の低音部の発声に苦慮しています。特に混声三部合唱の男声パートは音域が低く苦痛です。

私の合唱での拠り処は“男声合唱テナー”しかないのかなあ〜!と日頃から思っており、『男声合唱よ、永遠であれ!』と願っております。

しかし、男声合唱団は女声・混声合唱団に比べて少なく、私が把握している大阪府内のうたごえ男声合唱団は昴・号笛・こぶしの3団のみです。

更にコロナ禍以後、老齢化が進み男声の数は激減の一途を辿っており、一昨年の北海海道祭典・昨年の佐賀祭典での混声合唱のステージに上がった男声の人数は7・8人程度で10人以上の団は稀でした。

悲しい現実ですね!「来たれ若い男声よ!」と願うのみです。

合唱発表会の選曲に みんなの希望を出しましょう

15回コンサートが終わると、合唱発表会に向けた選曲が始まります。直近5回の曲目を並べてみましたが、私たちが本当に自信をもって歌い切れた選曲になっていたでしょうか?

「昴」らしさが発揮できる選曲になるよう、みんなで何が歌いたい、希望を出してみようでしょうか?

今年の合唱発表会

南部 7月21日(月・祝) 鶴見区民センター
大阪 9月14日(日) LICはびきの

	2019	2021	2022	2023	2024
開催地	京都	広島	名古屋	北海道	佐賀
結果	銅賞	選外	不推薦	不推薦	不推薦
曲目	日々草 朝露	日々草 U Bj!	地雷ではなく 花をください いのちの歌	ヒロシマ 母の 思い語り継ぐ 種子	思い出すため に アメイジング・ グレイス

私と昴

Bs 土井 一正

昴のコンサートには第一回目(数曲だけ歌う)から参加しています。その時バスにいた方はだれもいなくなり、今回15回コンサートまでの時の経過を感じています。10年前に前立腺ガン発病以降は、退団、特別団員の期間を経て、昨年の9月に再加入し、正団員としては久々のコンサートになります。

前立腺ガンの養生生活は、一年に一か月の入院、3か月に一か月の断酒食事療養を基本にずっと続けています。

しかし、この間高齢化がすすむ中でいろいろな運動に関わらざるをえず、この一年は96歳の母の体調悪化で介護に追われています。そのため養生リズムがアバウトになり、PSAの数値があがり「転移の恐れのある領域に入ってきています」と言われ緊張感ある日々を過ごすことになっています。

いま、3月9日のコンサートを目前に控えて、エネルギーな指揮者の下、レッスン参加時の周りの人の完成度合いを伺いながら、さすがに「はやく暗譜しみんなに追いつかねば」と気持ちは焦るものの、なかなか集中できる時間が取れずに来ています。

今回は、より昴らしい選曲構成になっていて、昴ファンにはぜひ来てほしい、昴の男声合唱の魅力を味わってほしいコンサートです。しっかり練習してしっかり歌いたい、聞いてほしい人にはもう少し声をかけたい、コンサート成功の一翼を担えたらと思います。

コンサートまで、あと一か月、充実した時間を過ごせるように頑張りたいと思っています。

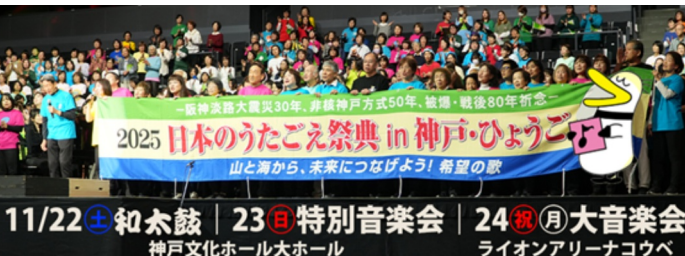
今年の日うた祭典は、隣の神戸での開催です!

阪神淡路大震災30年、非核神戸方式50年、被爆・戦後80年祈念
2025日本のうたごえ祭典in神戸・ひょうこ

去年の日うた祭典で、佐賀から神戸・ひょうこへのバトンタッチの際、レポート山中山さん作曲の祭典テーマソングが歌われ、準備が進んでいると感じました。また、和太鼓コンサートがトップに組み込まれています。

それもそのはず、日本のうたごえ全国協議会会長の田中嘉治さんは、神戸・兵庫のうたごえを引っ張ってきた神戸市役所センター合唱団団長で、その合唱団から生まれた太鼓集団輪田鼓とこうべ和太鼓センター代表でもあり、合唱組曲「悪魔の飽食」などをプロデュースしてきたという多才・多彩な人です。

大音楽会の会場は、今年4月開業の、ジーライオンアリーナ神戸です。



11/22(土) 和太鼓 | 23(日) 特別音楽会 | 24(祝) 大音楽会
神戸文化ホール大ホール ライオンアリーナコウベ